

千葉都心 エリア

歴史と趣のまち



千葉駅の東側、千葉神社をはじめ史跡・名勝など千葉市の歴史を感じるようなエリア。千葉市のことがよくわかる展示施設や昔なつかしい街並みなどが広がっています。

千葉神社 P53

人の星＝運命を司る北極星の神様「妙見さま」を祀る、千葉の街の総守護神です。「千葉の妙見様」と呼ばれています。妙見大祭（8月16日～22日）は、千葉神社で最も大きな夏の例祭です。1127年に始まりこれまで一度も途切れることなく続けられ、お祭りが7日間に及ぶのは妙見様のお姿の北斗七星にちなんで、七つの星に願いをかけるという願掛けのお祭りです。

中央区院内1-16-1 ☎043-224-2211（千葉神社）📍近隣に有料駐車場あり



よしもと芸人が紹介する
とっておきの千葉 「風格たっぷり。歴史感じるう～」
チョコレートプラネット



よしもと芸人が紹介する
とっておきの千葉

ライス



千葉常胤像

千葉氏

現在の緑区大椎町に本拠をおき活躍した大椎常兼の息子、常重は平安時代後期の大治元年（1126年）6月1日に現在の中央区玄島付近に本拠を移し、武士団を形成しました。

これが、千葉の都市としての始まりだと言われている。また、常重は初めて千葉氏を名乗った人物です。

常重の子、常胤は千葉氏の中興の祖とされる人物です。常胤は一貫して源頼朝を支え、鎌倉を本拠とするよう進言するなど、筆頭御家人として活躍しました。頼朝も常胤を父のように慕っていたと言われています。常胤は鎌倉幕府の成立に大きく貢献した名将だったのでした。



千葉市立郷土博物館

千葉氏をはじめ千葉の歴史がわかる企画展示、体験学習や講座も充実。平安時代から江戸時代の装束や鎧（すべて複製）などを実際に着用することができる「鎧やむかしの着物の着用体験」も実施（毎月第2土曜日※8月・1月を除く、要事前申込）、夏休みには小中学生に郷土史講座を行っています。

中央区玄島1-6-1 ☎043-222-8231

📍25台

【開館】9:00～17:00（入館16:30まで）

【休館】月曜（祝日にあたる場合は翌日も）、祝日、年末年始

千葉市美術館 P53

江戸時代から戦前の絵画や版画、現代美術、房総ゆかりの作品をコレクション。多彩な企画展を開催するほか、講座やワークショップも実施しています。

中央区中央3-10-8

☎043-221-2311

【開館】10:00～18:00（入館17:30まで、金・土曜は～20:00、入館19:30まで）

【休館】第1月曜（祝日の場合は翌日） 年末年始 📍85台



千葉公園（大賀ハス）

2000年の眠りから目覚めた世界最古の花「大賀ハス」の咲くハス池をはじめ、多くの花木が植えられ、四季の移ろいが感じられる、都会のオアシスです。

中央区弁天3-1-1

☎043-251-5103（中央・稲毛公園緑地事務所）📍50台



地域とともに ちば興銀

千葉興業銀行



ちば興銀LINE@友だち募集中! ID:@chibakogin